

論説・解説

6月に日韓国交50年と... 歴史や領土の要因もあ... 「現在の日韓関係は国民... レベルでも冷めており、史... 上最悪だと思ふ。とはい... 過去10年この節目を振り... 返ると、良好な雰囲気迎... えたことの方が少ない。30... 周年の95年は従軍慰安婦問... 題や歴史認識でこじれ、40... 周年の2005年は島根県... 竹島の領有権問題で対立... が深まっていた。期待が大... きければその分だけ失望も... 大きくなる。静かに迎えた... い」

国交50年迎える日韓

日本と韓国が国交正常化してから6月に50年を迎える。しかし、冷えたままの関係を反映し、歴史的な節目を記念する政府レベルの行事は見送られ、首脳会談開催もまだ見通せない。日韓関係の現状を専門家に聞いた。

韓国は日本との国交正常化している。安倍首相の演説結果は50年よりも、安倍晋三首相の訪米での演説や戦後70年談話に注目している。日本への影響力、圧力を行

「安倍首相が4月末の訪米で行った米議会演説に植民地支配の反省、謝罪などのキーワードが盛り込まれなかったのは残念だ。米国の演説ではあるが、東アジアの安定は日米だけで実現できるものではない。日米韓の関係を安定させることが必要なのに韓国への配慮が乏しく、安倍首相は韓国に向き合おうとしない。歴史問題を追及するだけでは、とも受け止められ

新潟県立大 浅羽 祐樹氏



あさば・ゆうき氏は1976年大阪府生まれ。立命館大卒、ソウル大で博士号取得。九州大講師、山口県立大准教授を経て現職。専門は比較政治学、国際関係論。著に「韓国化する日本、日本化する韓国」(講談社)。

国際環境変化 ギャップが深刻に

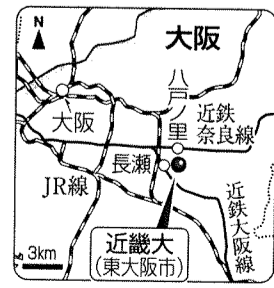
尖閣諸島をめぐる対立の一方、韓国は日米韓と米韓という二つのフレームを考慮している。米中への比重の置き方に相違がありギャップを生んでいる。地域情勢への認識差を調整するためにも首脳会談は必要だが、韓国は従軍慰安婦問題という前提条件を掲げている。「朴槿恵(パク・クネ)政権は対日外交だけでなく、対北朝鮮政策や福祉政策など内政面でも原理原則にこだわっている。一つの問題は、調整する必要がある。他は関係が止まってしまうことは隣国同士との認識は成り立たない。韓国内でも硬直した対日外交方針を見直せという指摘が出てはいるが、朴大統領が前提条件を撤回して安倍晋三首相との首脳会談を決断するのは難しいだろう。韓国を説得する手だてを考えた。日韓という一次元の方程式だけでは、実際の協議や日韓の会談の協



イ・ヨンチェン氏は1971年全羅南道生まれ。慶応大卒業後、98年に来日し慶応大大学院博士課程修了。専門は日韓、日朝関係。著書に「韓流がつたえど現代韓国」(梨の木舎)など。

相互に必要 認識の欠如問題

国内での支持率維持が厳しい状況で、唯一効果期待できるのは対日強硬姿勢なので、歴史問題を切り離して日本と向き合うのが難しいだろう。それでも、日韓はお互いに必要な存在なのだとの認識は経済界、市民社会の間にはある。政



大阪 近畿大 八戸ノ里 近鉄奈良線 長瀬 JR線 近畿大(東大阪市) 3km



初の女性団長が誕生

70年を超える歴史を誇り、漫画「嗚呼!!花の応援団」のモデルともなったといわれる近畿大(大阪府東大阪市)の応援部に、初の女性団長が誕生した。今年、中国留学生や男子チアリーダーが加わった。部長になったのは総合社会学部4年の広田美穂さん(21)写真。入学式後に見たパフォーマンスに魅了された。応援部は女性中心のチアと、学ラン姿の「リーダー」部があり、迷ったが、声量に自信があったことから、リーダー部の門をたたいた。OBで応援部監督の長谷川慎哉さん(48)は「まさかリーダー部に入りた女性がいるとは」と驚いたという。

1980年代までの近大応援部は「女人禁制」。当時はパンカラな部員がそろっていたという。OBは「怖

近畿大 かつては「応援部」だったが、チアリーディングの名前を応援部から連載「花の応援団」に改題している。

土 説

を抑えるには中古住宅の流通などに一層力を入れる必要がある。新法をより使いやすくしていく努力も欠かせない。空き家は2013年現在、全国に820万戸ある。住宅の約7戸に1戸が空き

増加抑制にも力入れよ

河財閥の所有になった。バラ園が有名で、5月からバラフェスティバルが開催されている。